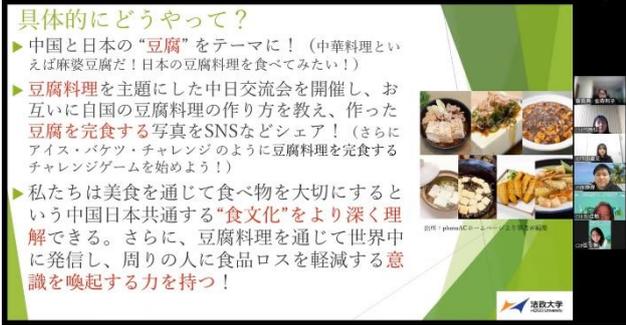


		<p>にある提案で、日中相互でうなずきながら考えを分かち合うことができました。</p> <p>山本先生はLCA (Life Cycle Assessment) による検討をアドバイス。また、日本側の発表について「中国側に比べ、社会への働きかけのところが弱い」と指摘した上で、NGO 設立や起業といった積極的なアクションを奨励しました。陳先生は、若者の熱意ある提案と活発な議論を賞賛し、未来への期待を込め、カーボンニュートラルの達成だけでなく、消費や社会・経済の発展にも常に目を向けることが重要であると強調した上で、一緒に追求していきましょう、と温かく呼びかけました。</p> <p>(参加者：中国の大学生・青年 32 名、日本の大学生 37 名)</p>
--	--	---

2. 記録写真

	
<p>2022年12月16日【座談会・優秀提案発表】 意表をつかれた「豆腐」の提案</p>	<p>2022年12月16日【記念撮影】 みんなでカーボンニュートラルを実現しよう！</p>

3. 中国側参加者の感想（抜粋）

◆ 中国 青年

日本と自国の教授によるオープニングの講義には大変励まされました。最後の発表後のコメントやまとめも、参加者が今後の研究の正しい方向性を理解するのに役立つものでした。

◆ 中国 大学生

中国と日本では、国情の違いから、カーボンニュートラルへの取組みの方向性が異なりますが、今回の交流を通じて、お互いに長短を補い合えることがわかりました。また、新しい考え方や方法も数多く学べました。

◆ 中国 大学生

今回の交流で、冷蔵庫の節電を工夫することや、料理を半人前ずつ注文して無駄をなくすことなど、生活における環境保護のためのちょっとしたテクニックを学びました。中日両国には環境保護に関する政策が数多くありますが、特に若者の環境保護意識が重要で、環境保護に関する活動を積極的に行い、無駄をなくしていかなければなりません。

◆ 中国 大学生

日本では多くの大学に独自のカーボンニュートラル計画があることを知り、中国でのカーボンニュートラルの今後の展開について、いろいろと考えることができました。また、山本教授から LCA の視点を取り入れたカーボンニュートラルの検討を提案していただいたことは、私の今後の研究にとって大きなヒントとなりました。また、“豆腐”の提案については、カーボンニュートラルを今後もっと楽しい方法で宣伝していけると思いました。

4. 日本側参加者の感想（抜粋）

◆ 日本 大学生

同世代の人の活動や意見を聞くことができ、とても感動しましたし、尊敬できる点もたくさんあり、とても有意義な時間を過ごすことができました。周りを巻き込んで発想を行動に移している報告を聞いて、自分にもなにかできることがあるかな、と改めて考えさせられました。

◆ 日本 大学生

カーボン・ニュートラルの取組として、日頃からできる工夫や、食文化を通したもの、周囲を巻き込んだ参加型のものなど、皆さんの提案から、数多くの取組が思っている以上にあるのだと気づきました。そのすべての提案に共通することが、自分からやる、行動を起こすということであり、やはり、脱炭素社会は1人1人の取組が肝心となってくると思いました。この機会を通して、自分でできることを考えながら、行動に移せるようにしたいと思いました。また、中国人の方と共通の課題を通して交流することができ、楽しかったです。

◆ 日本 大学生

中国におけるダンボールのリサイクル事例や生ゴミの資源化が特に興味深かったです。中国ならではの取組ではありますが、日本でも可能であればやってみたいと感じました。

◆ 日本 大学生

今回のオンライン交流を通じて、とても勉強になりました。両国の非常に優秀な講師と参加者と交流ができ、自分の視野を広げられました。今回のオンライン交流は学校では得られない非常に貴重な体験だと思います。これから、カーボンニュートラルの実現など人類共通の課題を解決するには、国際協力がますます重要になってくると実感しました。今後、さまざまな社会活動を積極的に参加し、自分の力を貢献して行きたいと考えています。

5. 参加者の对外発信、報道記事等

相聚云端会场 共话绿色未来——中日青年环保建设论坛成功举办

中国宋庆龄基金会 2022-12-16 22:46

为纪念中日邦交正常化50周年，我会与日中友好会馆共同主办的“中日青年环保建设论坛——为了我们美好的未来”于12月16日以线上方式在北京、东京举行，共约130位中日青年参加。论坛由中国国际民间组织合作促进会承办。



井顿泉 中国宋庆龄基金会副主席

中国宋庆龄基金会副主席井顿泉以视频致辞方式出席开幕式。他表示，我们都是中日邦交正常化的亲历者、受益者，更是中日关系的建设者、维护者。年轻人代表着希望与未来，在即将开启中日关系下一个50年征程之际，衷心希望中日青年铭记和致敬两国先辈们的智慧和勇气，肩负起历史赋予的责任，传承友好理念，加强互学互鉴，拓展伙伴关系，实现共同发展，共同开辟新时代中日关系的光明前景。他指出，当今世界面临应对气候变化的紧迫需求，推动碳中和、实现绿色发展已成为全球趋势。本次论坛探讨青年一代如何助力实现碳达峰、碳中和目标的实现，体现了双方共同应对气候变化等全球性挑战的良好意愿，具有很强的现实意义。中日在以绿色转型促进人与自然和谐共生、推动更加普惠包容的全球发展等方面有着很多共同话题，希望大家既动脑，也动手，通过理论与实践相结合，将环保理念更好运用到日常生活当中，带动更多的人热爱环境、保护环境，为全球绿色可持续发展作出更大贡献。



宫本雄二 日中友好会馆代会长

日中友好会馆代会长宫本雄二在视频致辞中表示面对气候变化的严峻形势，解决全球变暖、推进碳达峰碳中和，是人类面临的全球性课题，具有重大的现实意义和深远的历史意义。希望中日两国青年通过友好交流，更好地促进碳中和等世界课题的讨论与解决。通过互相学习借鉴、共同合作进步架起两国民间交往的桥梁，是日中两国人民共同的心愿，希望年轻一代成为日中友好交流的新纽带。



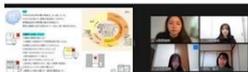
山本良一 东京大学名誉教授

在主旨演讲环节，来自东京大学的名誉教授山本良一为全体嘉宾带来了《面向2050年碳中和的提案——基于日中友好学术交流40年的经验》的主题演讲。他指出，日中两国友好学术交流40年，在双方共同努力下，两国在各领域交流合作达到前所未有的高度、深度和广度。面对环境危机，中国将生态文明建设写入了宪法，并制定了2060年实现碳中和的宏伟目标，日本发布2050碳中和绿色增长战略，日中两国碳达峰碳中和政策路线逐渐明晰。希望日中青年肩负起历史赋予的责任，携起手来共同建设和平、稳定、繁荣、美丽的美好家园。



陈迪 中国社会科学院生态文明研究所、可持续发展经济学研究室研究员

来自中国社会科学院生态文明研究所的陈迪研究员围绕《碳中和与青年的使命》主题进行了分享。她强调，气候变化已成为全人类面临的最严峻挑战之一，聚力碳中和是应对全球气候危机的必然抉择，全球绿色低碳转型成为国际社会的共识。中国的碳达峰、碳中和目标体现了中国的大国担当，以及推动构建人类命运共同体的决心与雄心。作为建设碳中和美好时代的主力军，青年人应该积极行动起来，努力学习碳中和的相关知识和技能，投身碳中和的伟大事业，改变自己，影响他人，同时积极参与到气候治理中来，加强不同国家青年群体之间的交流，助力全球碳中和目标早日实现。



日本神户女学院学生代表（寺内风花、仲田优菜、冈田萌希、大门佳音、堀绫音）



张佳敏 中国河海大学学生代表



徐博伟 政法大学学生代表



杨晚钰 四川利兴龙环保科技有限公司青年代表

围绕“碳中和，该从何处起？”这一命题，中日大学生在参加论坛之前纷纷向大会组委会递交了建议书，并在论坛现场进行了展示。经过中日双方专家的评审，日本神户女学院大学、中国河海大学公共管理学院、政法大学研究生院的大学生代表以及四川利兴龙环保科技有限公司的青年代表先后对其获评优秀提案的建议书进行了详细介绍。中日青年在问答交流环节发言踊跃，讨论热烈。



金森有子 日本国立环境研究所主任研究员



张称意 中国气象局国家气候中心研究员

来自日本国立环境研究所的主任研究员金森有子和中国气象局国家气候中心的研究员张称意作为此环节的点评专家，对大学生代表富有创意的想法和未来建议给予高度肯定，并呼吁广大青年在思想上、行动上均能够秉持环保理念，不负芳华使命，为人类命运共同体积极赋能。

最后，山本良一教授与陈迪研究员分别作会议总结。他们提出要顺应时代发展的大趋势，充分结合未来技术进行环保创新。依托大数据与人工智能等前沿技术，使各种创新策略能够切实落地。



与会中日青年一致认为，“绿色环保、和谐发展”是未来中日发展的共同主题，青年一代要主动担负起新时代的责任和使命，从自身做起，为实现“碳中和”目标赋能，积极引领中日两国走向美好未来。

当天上午，中方参会代表连线日本驻华大使馆新闻文化中心，听取日本文化中心官员对日本文化的相关介绍，并展开问答交流与互动。

供稿：国际合作交流部

校核：王珈珈

编辑：伟雄

2022年12月16日（WeChat）

フォーラムに出席した日中の青年は、「緑の環境保護と調和のとれた発展」は日中の将来の発展の共通のテーマであり、若い世代が率先して新しい時代の責任と使命を担い、自ら行動し、「カーボンニュートラル」の目標の実現を活発にし、積極的に日中両国をよりよい未来に導くことに同意しました。

実施団体名：（公財）日中友好会館